

全ての原発なくそう！

9・9－10 「反原発」全国学生大会へ！



全原発廃止へ新たな全国運動が始まった！（8月5日、広島）



【左】8月6日午前9時、原爆ドーム前を埋め尽くし、全世界に原発全廃の闘いを宣言。【右】原爆ドーム前のデモに飛び入りも！

ヒロシマ・ナガサキとフクシマを結び
反原発の新たな運動をスタート

すべての学生のみなさん！
反原発署名を集め、9月9・10日に行われる全国学生大会に集まることを訴えます。
大会の意義は第一に、福島
の怒りと団結し、広島・長崎
から始まった反原発の新たな
運動を推し進め、全原発廃止
へ突き進む学生の大会にする
ことです。

8月6日広島、9日長崎は、
今までにない画期的な行動と
なりました。原発によって再
び大量の被曝者が生み出され
ています。この現実を怒りを
燃やし、全国から多くの学生
・労働者が結集しました。既
成反核運動が核と原発を切り
離し、「核についてはいろいろ

意見があるから態度表明しない」と原
発に口をつぐんでいる状況を打ち破り、
私たちが軸になって、青年・学生を先頭
とした新たな反原発の運動がスタートし
たのです。

8月12日には、福島の農林漁民280
0人が上京し、東電と政府の責任逃れを
絶対に許さない怒りのデモに立ち上がり
ました。（裏へ）

すべての原発いますぐ
なくそう！全国会議



抜粋

福島第一原発の重大事故
は、ヒロシマ、ナガサキ
に続く「三度目の原爆投
下」ともいえるべき、国家・
資本による歴史的大犯罪
です。今もなお大気・大
地・海への放射能の放出
が続く、汚染の規模はま
すます拡大しています。
無数の人々に被曝を強制
し、人間の生きる社会を
破壊している責任を、絶
対にあいまいにすること
はできません。政府、電
力会社をはじめ、原発を
推進してきた全勢力にいっ
さいの責任をとらせるま
で、私たちは闘います。
……
今こそ、核・原発との
「共存」を強いられてき
たこれまでの歴史を乗り
越え、核も原発もこの世
界からなくすために立ち
上がる時です。……
学生が先頭に立って、
大学キャンパスから反原
発の闘いを巻き起こすこ
とが求められています。
原発推進に加担する研究
機関と御用学者を許さず、
大学を反原発の発信源に
しましょう。……
青年・学生をはじめか
つてない巨万の人々が、
日本中で、そして世界中
で反原発の声を上げ、怒
りと決意を胸に行動を開
始しています。原発をな
くし、社会を根底から変
革する力は、このたたか
いの中にこそあります。

全学連

全日本学生自治会総連合(織田陽介委員長)

Tel/Fax 050-3036-6464 mail_cn001@zengakuren.jp http://www.zengakuren.jp/

掲げた9・11デモは、この秋の大闘争の始まりです。

学生の行動で社会を変える時

大会の意義は第二に、全世界で青年・学生が社会を変える主人公として躍り出ている中で、日本の学生がその先頭に立とうということです。

3・11はすべてのウソと偽りをあばきだしました。人間が人間として扱われず、金儲けがすべてに優先される新自由主義が、大震災と原発事故をもたらしました。

私たちがしなければならないことは一つです。この社会への怒りを一つに団結させ、新たな歴史を切り開く若者の反乱を開始するのです。

これは私たちへの行動の呼びかけではないか。利潤第一主義の新自由主義によって生きることも未来も奪われ、競争させられてきた私たちこそが、こんな社会のあり方を丸ごとひっくり返そう。反原発で学生の団結をよみがえらせる中にその展望があります。

大会の意義は第三に、反原発闘争で大学・教育を学生の手に取り戻し学生自治会を建設しようということです。

大学を御用学者の安息の地にしてはならない！「教育の民営化」と一体で、大学が原発推進の先兵となり、声を上げる学生が弾圧されてきた。私たち全学連は、この現実と徹底的に闘い抜いてきた。118人の逮捕者まで出しながら必死に闘われてきた法大闘争は、大学・教育が資本によって私物化され、学生の未来が奪われることへの渾身の反撃としてあった。学生など単位や就職でオドシ、処分言いなりにできるといふ思い上がった大学当局に体を張って立ち向かってきた。それが、学生の持っている可能性だ。こうしたすごい力が一人一人の普通の学生の中にこそある。今こそ全国学生の嵐のような反原発闘争の中から、学生の団結を復権し、学生自治会を甦らせよう。

福島は母親たちは、「子どもの命を守れ」と渾身の声を上げています。問われているのは、私たち学生であり、大学です。人間が生きていることの根本を否定しているのが原発であるならば、それに立ち向かえない大学や学問とは一体何の意味があるのか！今こそ学生は自らの存在をかけて、「反原発！」の声を上げよう！「再稼働阻止・反原発」を

全国から広島に集まった1年生・初参加の学生の声

●原発をとめるため、全学連大会にも参加したい。危険な道に首をつっこんでいるとも思ったが、学生の団結を壊し、労働者を人間扱わない社会の方が危険ではないか。（広島大生）

●原発事故の時、未来に不安を感じたがどこにもぶつけられなかった。今ある怒りは9月にぶつけることができる。糸口を見つけたという感覚があります。（広島大生）

●原発反対を大学の中でやるのが大事、だけどそれが難しい。自分の場所からできることをする。全学連大会



「反原発!大学奪還!8・7全国学生集会 in ヒロシマ」に全国から学生が集まる!

には友だちを誘って参加したい。（首都圏A大学）

●何もしなければ何も始まらない。法政大学は監獄大学。でも法大生は必ず立ち上がる。理不尽に対する怒りの決起を呼び覚ませると思います。法大闘争のように反原発闘争を闘おうと訴えたい。（法政大学1年生）

全学連第72回定期全国大会

9月9日（金）～10日（土）

一日目 文京区民センター 二日目 浜町区民館

参加費／1000円（資料代など。宿泊費は除く）

福島返せ! この怒りに こたえる行動を



賠償を求めるシブレットをしながら、東京電力本店前を走行する福島県農林漁業者ら12日午後、東京・内幸町で

福島怒り

東電本店前など農林漁業者デモ「国や東電は何を求めているのか。東京電力福島第一原発事故後、一向に収まらぬ放射能被害に、福島県内の農林漁業者約2500人が12日、東京・日比谷公園に集まり、怒りの声を上げた。JAグループ福島同県漁業協同組合連合会などの主催で、集会後、東電本店前をデモ行進して賠償や除染対策の徹底を訴えた。集会で漁業団体の

◆8月12日、福島の農林漁民2800人が東京に結集し、日比谷公園での決起集会と東電へのデモに立ち上がった。

「東電・政府は責任を取れ!」「ふるさとを返せ!」地鳴りのような声が霞ヶ関に響き渡った。福島から、人間としての尊厳をかけた反撃が始まった。この怒りにこたえよう。